

## 令和6年度 第3回深谷市地域公共交通会議 議事録

開催日時： 令和6年6月24日（月）14時00分～15時00分

開催場所： 深谷市役所 3階 災害対策本部室

出席委員： 別紙 出席者名簿 のとおり

（15名） （欠席委員：9名）

欠席委員： 浅見委員、関根委員、大久保委員、高原委員、荒船委員、中山委員、坂井委員、島根委員、宮原委員

傍聴人： 0名

事務局： 吉田事務局長、武田事務局次長

（9名） 【都市計画課】

羽二生課長補佐、荒谷課長補佐兼市街地整備係長、真下主任

【埼玉工業大学】

副学長 渡部 大志

【受託事業者(ランドブレイン株式会社)】

3名出席

議事次第： 別紙参照

配布資料： 別紙参照

### 1. 開 会

### 2. あいさつ

### 3. 協議事項

#### 議案第1号 深谷市コミュニティバス「くるリン」（定時定路線）の再編について

◆事務局および本業務の受託業者より資料1の説明

◆埼玉工業大学渡部教授より説明

◆質疑

【長原会長】 議案第1号について説明があったが、質疑等ないか。

【清水委員】 新しいバスを導入するとあるが、車両はエルガミオということで、バスの車両幅が大きいことから通れる道の検討は必要であると感じる。

循環型が1日2便、直行型が1日15便とのことで、直行便に乗りした利用者が中の家から旧煉瓦製施設に向かうのに循環型を利用するという考え方で良いのか。

【事務局】 今回提示している運行便数はまだ案の状態である。交通弱者のための対応と観光需要対応とのバランスをとって検討していきたい。実際の利用データを分析し、8月の会議に分析結果に基づいた運行ルートと時刻表を提示する。今回提示したものは、あくまでも運行のイメージである。

【清水委員】 現在の循環型ルートだと JA ふかや豊里プラザや小暮医院を通るルートとなっているが、本当に交通弱者のことを考えるのであれば、一本北に入った川岸自治会館周辺や上高島の方が住宅や資料館があり、そちらを経由する方が良いのではないか。その場合、大きいバスでは狭いと考えているので、使用車両等についても改めて検討した方が良いのではないか。

自動運転実装コンソーシアム側とすれば、別にルートにこだわる必要はないと思うので、事故の少ない広い道を通る直行便でもいいと思う。観光と交通弱者のことを考えていくのであれば、その辺りも検討が必要になる。

【事務局】 説明しているものは、あくまでイメージである。時間やバスの大きさなど色々な条件があるので、乗降客データの分析等や、時間、道幅などの諸条件についての再検討を行っていく。方向性が決まり次第、ご報告する。

【長原会長】 その他、質疑等あるか。

(意見なし)

【長原会長】 それでは、議案第1号については原案の通り承認するということでしょうか。

(異議なし)

【長原会長】 異議なしとのことで、「議案第1号深谷市コミュニティバス「くるりん」(定時定路線)の再編について」は原案の通り承認された。

## 議案第2号 深谷市地域公共交通計画(別紙)の作成について

### ◆事務局より資料2の説明

◆質疑

【長原会長】 議案第 2 号について説明があったが、質疑等ないか。

(意見なし)

【長原会長】 それでは、議案第 2 号については原案の通り承認するということよろしいか。

(異議なし)

【長原会長】 異議なしとのことで、「議案第 2 号深谷市地域公共交通計画（別紙）の作成について」は原案の通り承認された。

4. 閉 会